



《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市関屋下川原町 2-635
新潟県立新潟高等学校内
TEL 025-266-5268
FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

長谷川 義明

《印刷所》

オリオン印刷株式会社
〒950-0963 新潟市南出来島1-19-1
TEL 025-283-2151
FAX 025-283-3804

会長挨拶

青山同窓会会長

長谷川 義明 (61回)



日本海側初の政令指定都市へ向けての諸準備が進められておりますが、市議会、県議会の議決を経て市長、県知事から総務大臣への要望手続きが行われ、現在は政府の政令の公布を待つ状況とのことです。歴史的大事業である政令指定都市の平成十九年四月の発足に向けて、市町村合併をはじめ関係機関との調整など実に多くの困難な業務を着実に乗り越えてきておられる篠田市長はじめ関係職員の皆様

さんのご努力に深く敬意を表したいと思います。新潟にとつては開港五港指定や大正三年の沼垂町との合併による近代港湾都市に向けての発展につぐ大事業となるのではないかと期待を致しております。早速横浜市と共に次の先進国サミットを誘致しようとの構想が発表されており、一九八八年のアジア卓球選手権大会、二〇〇二年のワールドカップサッカー大会国内第一戦の開催と新潟市内での国際規模の大会の開催はまだ多くはありませんが、治安対策など諸機関との緊密な連携などの経験も活かして市民にとつても喜ぶべき形での開催に向けて工夫を

国際化の著しい進展の時代に

国際的イベントの開催経験を積み日本を代表する政令指定都市として、国際交流の一つの玄関口の都市としての役割を今後も果たし続けることは港湾都市新潟の歴史と伝統にも即していると思います。そのための努力は常に求められ続けるのだと思います。

国際化と共に情報化の時代といわれコンピュータの発展による情報処理能力の向上、日常生活への情報機器の導入など目覚ましいものがあります。携帯電話、家庭でのパソコンなど多くに若者にとつては生活必需品の感があります。同窓会の活動についても会報による活動状況の報告のみでなく、いつでも情報に接することの出来るインターネット上へのホームページ開設の期待が多く寄せられておりました。そこで会報委員会の有志を中心として検討会を持ち、このたび青山同窓会としてのホームページを開設することといたしました。情報の提供には便利

青山同窓会ホームページを開設しました

同窓会では懸案となっておりましたホームページを4月から公開いたしております。各種行事のご案内をはじめとして、同窓会の活動をこれまで以上にタイムリーにお知らせしてまいりたいと思っております。どうぞご覧いただき、ご意見等お寄せください。

URL http://www.geocities.jp/niigata_aoyama/

青山学術文化講演会

主催 青山同窓会

今年も新潟高校卒業生で、各界でご活躍の方々から講演をして頂きます。なかなか聞けない話ばかりと思います。ぜひこの機会に母校見学を兼ねましてお越し下さい。皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。

- 開催日 平成18年10月21日(土) 午後1時30分～4時
- 会場 県立新潟高等学校 視聴覚教室 (案内板が出ています) 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
- 定員 400人 (一般市民の方々も聞いて頂きます)
- 参加費 無料

- 講演予定者
神林恒道さん (65回卒)
會津八一記念館館長・大阪大学名誉教授
演題:「會津八一の美学」
没後50年となる、母校の偉大な先輩の業績と人物についての講演
- 石黒 久さん (73回卒)
大成建設アジア統括事務所長
演題:「我がふるさとネパールとアジア諸国での体験談」
外国でアジア諸国の人々と共に心を通わせながら仕事をすることについての体験談

○ 申込み先 青山同窓会事務局
電話・FAX 025-266-5268
E-mail niigata_aoyama@yahoo.co.jp

PTA 会長ご挨拶

遠藤 聡一 (87回)

平成十八年度新潟高校 PTA 会長を務めさせていただくことになりました遠藤聡一と申します。PTA 活動にはあまり経験がなく、前会長の高橋正良さんのように重職を全うできるかどうか不安ですが、皆様のご指導を頂きながら勉強していきたいと考えております。

六月一日(土) 爽やかな晴天のもと、新潟高校の伝統行事のひとつである青陵祭を見学させていただきました。今年度は少子化の影響で一年生が二・三年生より一クラス少ない九クラスとなりましたので、昨年までの十クラス縦割りの十連合方式から、どのように連合を組むのが課題になっておりました。その問題に対して生徒たちが主体になって考え検討した結果、

従来どおり十連合で行い、ひとつの連合だけは一年生がいないという形に決まると、小林校長先生からお伺いしました。一年生のいない連合を取って設けるという結論に至るまでの過程は、想像するに簡単ではなかったと思います。また各競技においても競技方法に人数の差が工



平成 18 年優勝バック

夫されて行われておりました。来年度は三年生だけ一クラス多という状況になりますので、今年と同じように生徒の皆さんが創意工夫をし、伝統のある青陵祭をさらにすばらしいものにしていくことと思っております。

新潟県、北信越地区、全国 PTA 連合会の大会に参加いたしますと、「高校教育と PTA」「進路指導と PTA」「生徒指導と PTA」「家庭教育と PTA」が研究発表の主要四テーマとなっております。都度勉強をさせていただきます。PTA

のあり方は各高校によつてそれぞれ特色があると思いますが、伝統ある新潟高校らしい PTA 活動が行えればと考えております。青山同窓会の皆様から新潟高校 PTA 活動に、より一層のご指導・ご支援を頂きますようお願い申し上げます。

青山同窓会 報告

職員 吉田 巖 (88回)

一昨年より形式を変えて立食形式で行われるようになった新年会ですが、本年は以前のようなテーブル形式に戻して、二月十七日(金) グランドホテルを会場にして開催されました。

昨年のジャズ演奏のよきな企画は今年はありませんでしたが、「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ二〇〇六」の PR、坂口安吾の記念碑作りの募金の呼び掛け、そして当初の予定より遅

れて到着された衆議院議員吉田六左エ門さん(66回)からの御挨拶を途中にはさみながら、久しぶりに顔を合わせた同窓の仲間同士、旧交を温めあつたり、近況を報告しあつたりして和やかなムードで会は進んでいきました。料理とお酒を肴に話に花が咲いている中、白井行雄さん(79回)の音頭で丈夫を斉唱し、本年の新年会も盛会のうちに終わることができました。



東京青山同窓会 二〇〇六年度 新人歓迎会・講演会

校内幹事 玉木 正己 (86回)

六月十六日(金) 東京全日空ホテルで、今春卒業した114回生を迎え新人歓迎会が開催されました。昨年から新人が大挙して参加するようになりましたが、今年も四十名が参加し会を盛り上げてくれました。二年連続の大量参加で、事務局の懐は大丈夫でしょうか・・・また、新潟からも五十嵐・加藤・玉木の三恩師が会に駆けつけました。



第一部の講演会ではドラマ「ちやんの声」で有名な声優よこざわけい子氏(79回)が「夢を大きく持とう」という題で講演をされました。「私は人生の転機でいろいろの人に相談し、そして反対されることが多かったけれども、夢を叶えたいという一心で努力し、なんとか道を切り拓いてきた」「新人の皆さんは小さな夢を持ってはいけない、小さな夢は掴めない」とそれまで

大先輩からいろいろ話を伺っていただきました。同期の仲間と会うということに参加した新しい人もい



同窓生訪問

「深くこの生を愛すべし
かえりみて己を知るべし」

上原明氏 (62回) を訪ねて

たかと思いますが、先輩といろいろな話をし、大きな収穫を得た人も多かったのではないのでしょうか。テーブルで、楽しく談笑している姿を見て、同窓会の和が大きく広がっていかればと感じたところです。会の最後の締めは「丈夫」。新人関根拓君の音頭の元、新人全員がステージに上がり、会場全員で斉唱「元氣よく会が終了しました」。



(会報編集委員)
岩原 朋子 (93回)

良かったと思っている。」

上原さんは、新潟附属小中学校から新潟高校卒業後慶応義塾大学に進まれ、その後十二年間日本興業銀行に勤められた後に、後継者として新潟日産自動車に戻られたということです。上原さんは人の話を聞く時、とても優しい眼差しでしっかりと相槌を打たれます。ご自分がお話しする時はとても謙虚に照れくさそうに、何でもないように話されます。小中学校から高校・大学、銀行に至る全ての期間で良い仲間に出会い、そして友情が継続しているというのも、よく理解できる気がしました。

新潟日産自動車(株)の社長であり、且つ、新潟商工会議所会頭である上原明さん(62回)を訪ねました。会頭就任から約四年、新潟県内も不況の真っ只中だった時代、万代島ビルへの商工会議所移転問題など、当初から課題山積みの中、さぞかしご苦労をされ心痛も大きかった。はずなのですが、上原さんは表情も口調も穏やかにこう話して下さいました。「移転資金調達のために会員の皆様にお願ひに上がった際に、不景気にもかかわらず商工会議所の為ならばと多くの方々から協力頂いたことに感激した。」現在、万代島の会議所と、上大川前通の中央会館の両方をうまく活用でき

来年、新潟市が政令指定都市へ向け歩みだすことについて、「実は商工会議所で二〇年前に百万都市経済圏構想というものを提言した。当時ほとんど無理と思われたことがこうして実現していくことは大変感慨深い」また「今後は道州制を見据えることも課題で、新潟県は周辺県全て

と関係のある特別な大県であるが、経済的なことを視野に入れば関東甲信越ということになるのではないかとのこと。また最後に、今の高校生宛にメッセージを頂きました。「県高は一定レベル以上の人たちが入ってくる場所。その中で良識・常識を持った人間になって欲しい」「若いうちは世の中の矛盾や不合理を解決するだけの力はないが、世の中にはそういうことが多くあることを意識

寄稿

會津八一先生と将棋

伊藤 登 (71回)



晩年の會津八一先生
昭和二十九年秋、
南浜通の自宅脇にて

し、考えて欲しい。その事が今、社会に最も欠けている弱者に対する思いやりにつながる。」
會津八一の「学規」より
一、かえりみて己を知るべし
一、学芸を以て性を養うべし
一、日々新面目あるべし
上原さんのように控えめだけど、実は引出しが多い(イメージ的に関西人と全く逆)ところに、新潟の男の人の有り様を見たら気がしました。

私の父は先生を戦前から存じ上げていたようだが、以後、先生そして家事をみることとなった蘭子さん(後に養女となる)と私の家族とは深い親交が続いた。私と三つ下の妹は先生からみて、孫のような年頃であったこともあつてか、お二人からは大変可愛がって頂いた。私の場合、幼い頃は腕白で、先生が大事にされている庭木や盆栽に触れたときなどは大きな雷が落ち、少し怖い存在でもあつたが、先生が将棋に興味を持ち始められたのは、私が小学校高学年に入りかけた昭和三十年のこととだつたと思う。先生は日頃から懇意の、古書を扱う佐久間書店から解説書を購入し、それを傍らに置いて私に手ほどきをしてくれた。その内に実戦ができてくると、対局を重ねたが、腕の方は失礼ながら、私と勝負だつたような気がする。解説書の影響か、「待ち手」は卑怯だと言われては、よく手を代えさせられたのが印象に残っている。時には蘭子さんも加わり、興が乗ると数日続き、冷めると間があくという繰り返しだつた。一つだけ今でも心残りなのは、ある日、外で遊んでいた私に書齋から、「登ちゃん、将棋しようてー」と声がかかったのだが、「うん、後で」と返事を

會津八一先生は我が校の大先輩であり、その業績については広く知られているが、ここでは紙面をお借りして、世間でもあまり知られていない普段の生活の中で、晩年の一時期、私などを

月、先生が東京の空襲で罹災後、疎開先の中条町を経て、縁あって当時私が住んでいた家の別棟に越して来られた頃であつた。ただ、私は丁度二歳になったところで、初対面の記憶はない。

したもの、遊びに夢中ですっぽかしてしまつたことだ。その後先生は入院し、亡くなられてしまつたので、一年近く続いた対局の次の機会は永遠に失われてしまつた。恐らく、あの頃は既に体調が優れず、仕事も思うに任せぬときに、将棋で気を紛らわせたかつたのではないか。あの時の短い会話が、未だに私

坂口安吾

生誕一〇〇周年祭にあたり

「安吾の会」世話人代表

齋藤 正行 (76回)



写真は新潟市提供

坂口安吾は、大正八年四月、新潟県立中学校に入学した。そして二年生を留年し、三年に進級した大正十一年八月三十一日退学した。

の遺児綱男さんから遺品、四千点が新潟市に寄贈された。現在は、新潟美術館で遺品の整理が行なわれている。また新潟市は、合併記念とし

の耳の奥に残っている。

早いもので、今年十一月で先生五十年忌となるが、私は今大阪に住み、後日蘭子さんから譲り受けた解説書の「将棋大観(昭和四年発行)」や、先生が書いてくれた駒の動かし方の図解を時折取り出し、当時のことを思い出している。

て、「安吾賞」を創設し、生誕百年の今年第一回目の受賞者が決定する。当然、展示会も企画されている。市と協力して、三年前より「坂口安吾生誕百年祭実行委員会」を立ち上げ本年を迎えた。坂口安吾原作の「桜の森の満開の下」を脚本・岸田理生、演出・金亜羅(韓国)、主演・千賀ゆう子で六月十六日、りゅうとびあ能楽堂を皮切りに、坂口安吾原作の映画、亡くなったばかりの今村昌平監督の「カンゾー先生」を始め、「白痴」を監督した手塚真さんたちが、作品を集め、東京、新潟で公開する予定。また、新潟市でも、「坂口安吾生誕百年、中上健次生誕六十年」の企画が八月に行なわ

る。

他にも多々企画があるが、十月二十日を目指して、生誕の地に「生誕碑」の建立の計画もあり、募金活動も始まつた。建立の場所は新潟大神宮の境内に決まつた。

同窓会名簿には載らない坂口安吾だが、同じ学び舎に通つた者として、また、安吾の作品で感銘を受けた人達も大勢いらつしやるはず、混乱する時代には、常に坂口安吾は浮上します。この機会に、坂口安吾を再読してみませんか、屹度新しい発見があるはずです。

新潟市八千代二の二の
シネ・ウインド内

応援歌について

富所 強哉 (46回)

古い話だが応援歌のルーツについて、会報二十八号(昭和五十四年)に「丈夫」「ただに血を盛る」が夫々東京高等師範学校(旧制・以下同断、私見では曲だけが歌詞は不明)第四高等学校(金沢)であることと、凱旋歌の歌詞が母校の先輩によ

るのと記事があり、二十九号では前会長の上村さんが「噫呼青陵に」のルーツが第一高等学校

各地で行なわれている。新潟では一昨年までイタリヤ軒で盛大に行なわれていた。この寮歌祭で知り合つた中で全国各校の寮歌を集め、また寮歌をルーツとする旧制中学校の応援歌を調べている人がいて、その人に母校の丈夫などについて話した際に百周年を記念して作られたカセットテープの歌詞集を見せたら、この二曲のルーツと思われる歌を覚えてくれたのである。尚「古都蕭々」は私達の頃は敗戦歌と言つて、教えられたり応援で歌わせられたりしなかつたが、どうして敗戦歌とされたか分らない。歌詞も曲も良く私は大好きである。

旧制高校や寮歌については今では知らない会員が多いと思われるので、ついでに説明させて頂く。

当時は義務教育は六年生の尋常小学校だけで、それに続く五年生の中学校の四年修了が受

験資格の三年制の高等学校があり、原則的にはその高校の卒業が国立の大学(三年制・医四年)の受験資格であつた。

この高等学校の殆どには寮があり(学校によっては全寮制)、寮歌はそこで毎年作られたもので、作詞作曲とも二十才前後の寮生によるものである。

因みにこの高校の仲間として扱うのは、官立二十七・公立三・私立四の併せて三十四校と九帝国大学のうち北海道・台北・京城(現在ソウル)だけにあつた予科三校と学習院との三十八校としている。これら学校の卒業生は、明治十九年の第一高等学校他四校の創立から戦後の学制の改変で消滅するまでの六十余年間で、僅か二十万人程度という推計があるが、戦前戦後とも日本の中枢にあつた人の多くはこの高校出身者だつた筈である。



特集

“飛んでる”三人の女性(90回)

旧職員 上杉 雅之(60回)

三千歳代を過ぎたばかりの女性三人が、二人は新潟市、一人は茅ヶ崎市を拠点にして、地元新潟への熱い思いを抱き、全国的にも注目される活躍を展開している。それぞれの短いプロフィールを紹介し、青山同窓会諸兄弟の熱い声援を心からお願ひする次第です。

塚田裕子さん

本年四月、日本で初めて創設された「がん薬物療法専門医」に新潟県でただ一人認定された。

私事で恐縮であるが、数年前県立がんセンター新潟病院に緊急入院したことがあった。塚田医師の早目の適切な診断と処置で幸い事なきを得た。その折、当時の病院長栗田雄三さん(63回)は筆者に次のように語った。「塚田医師は当病院屈指の勉強家です。外来患者に向き合う時も、研究への取り組みも寸暇を惜しんでがんばるんです。僕は彼女に、健康のことを考えて少しは休むようにとよく言うんです。この病院にとつては大切な人ですからね。」

全国でもわずか四十七人の一

人として認定証を受けた塚田医師は、新潟日報の取材に次のように応えている(本年三月十九日版参照)。「認定試験を通じ、専門外の消化器(彼女の専門は呼吸器)のがんなども勉強し直すことができた。患者さんがどこでも一定レベル以上の薬物治療を受けられる環境づくりに貢献したい」。更に次のようにインタビューを締めくくった。「新しい薬が次々出てくる。患者さんに、常に最新の医療を提供できるように勉強を続けたい」。常に向上を目指す塚田医師の存在は本県ばかりでなく日本にとつても誇りである。

池田美弥子さん

五月三日(二十一日)NSTギャラリーで開かれた春季創画展(日本画)で、地元出身画家

としてその入選作品「探梅」が展示された。上空から見降ろす鳥瞰的な構図で、早春の畑と家をモチーフにした日常の風景が心を暖めてくれた。



写真は池田美弥子作 雲の花見

京の商社でソ連ビジネスという特殊な市場に対しどのような対応をすべきかという問題意識を抱き続ける。新潟へUターン後は地元テレビ局で翻訳、解説、国際交流業務に七年間従事。研究者を志し大学院で五年間研究活動。とりわけ国際マーケティング論を研究。現在新潟大学等県内大学で非常勤講師として活躍中でもある。長男は四月母校に入学、他に双子の娘さんがいる。

富山栄子さん

本年四月新潟市に新設された事業創造大学院大学助教授に就任。二年前富山さんが「ロシア市場参入戦略」(ミネルヴァ書房)という大著を出版されたことを祝い、本誌七十九号に登場いただいている。今度は大学院大の教官だ。

学生時代全国ロシア語弁論大会で入賞しソ連政府の招待で初めて訪ソ。大学卒業後三年間東

の入り口があるのでは。それを探し出して形にする、遠近法にとられない日本固有の空間意識によって」とも語っている。七月十日(十五日)、東京「画廊はね」での彼女の個展が楽しみである。来年八月に新潟市でも発表する予定とのこと。

新潟地域の活性化のために起業家育成と企業内事業創造を目指すMBAを取得できるこの事業創造大学院大学には、県内主要企業選りすぐりの優秀な社会人が派遣され学んでいる。富山助教授の担当講座は「新興市場マーケティング戦略論」。中国やロシアをはじめとする海外とビジネスを行う場合には、どのように戦略をたてるか、が中心テーマと富山さんは語る。長年にわたる筋金入りの実践と研究の成果を受講できる学生はラッキーだ。



実習を終えて

小見 麻梨子(111回)

今まで通った事のない正面玄関をくぐった時。生徒という立場ではなく、実習生、生徒から見れば一人の教師なのだと思感した瞬間でした。と、同時に準備不足ではないだろうか、自分に授業が務まるのだろうかという不安や緊張が高まりました。青陵祭が近づき教室の窓から応援練習の声が大きくなるにつれて私達の不安な気持ちも徐々に薄まってきました。それは先生方が実習生を受け入れる体制を万全に整えてくださり、日々指導して下さいました。大きいと思っっています。ただでさえ県総体前、青陵祭前と学校全体が慌しく忙しい中で、通常業務に加えて教育実習生の指導にあたるというのは大きな負担は

ずです。この場をかりて実習生一同感謝を申し上げます。

同 期 会 報 告

青山64期生

卒業五十周年記念大会報告

風間 士郎 (64回)

1 平成十八年六月三日ホテル日航新潟三十階の窓から夕日が日本海に沈む頃、表記大会が始まった。

第一部式典は、まず私が挨拶で恩師二名と一〇〇名の参加者を得て盛大に開催することができた感謝と大会の意義を述べ、

田中堅一郎君の巧妙な司会進行により、校歌斉唱、物故者黙祷など厳肅な雰囲気のもとで挙行された。横山貞雄、小田一彦両恩師から在校時代の思い出と人生の苦難をどう乗り切るか有益なご祝辞をいただいた。村山俊君の閉会の辞で一部を

生徒の皆さんも体の疲れがたまる時期ですが、私達のつたない授業を受けてくれ、暖かい励ましの言葉をかけてくれました。先生方が、生徒との触れあい大きな力になるとおっしゃっていました。その通りだと感じています。教育実習とは教師の仕事のほんの少しの部分を体験し、そこから学んだ事を自分の将来の糧にするという事が目的であると私は思います。教育実習の中で大きな割合を占めるのが教壇実習であります。自分なりの授業を組み立てるのには様々な試行錯誤がありました。授業を一時限任されているんだという責任を重く感じ、教壇に立つ時は常に震える程の緊張を覚えました。しかし、その経験を経て研究授業で自分達の成果を出す事が出来たのは、これからの大きな自信になると思います。教育実習はおそらく大学在学中に一番勉強する期間になるだろうという言葉を聞いた事がありますが、本当にそうだと実感しました。この経験を本当の意味で糧にする為に、大学に戻ってからも努力を続けます。三週間、本当にありがとうございました。

通信制コーナー

昨年度で閉課となった通信制の広報の場として、青山同窓会報に新たに通信制のコーナーを作り、通信制の記事を載せていくことになりました。通信制だけでなく会員相互の親睦に役立てばと会報編集部会では考えています。尚、通信制第一回卒業は、昭和三十四年になります。

お世話になります

通信制前部会長

牧野 栄作 (通11回)



開設以来五十八年、新潟高校通信制課程が平成十八年三月第四十八回卒業式をもってその歴史の幕を閉じました。

閉課程記念事業につきまして、青山同窓会、学校当局のご支援ご協力をいただき、式典、記念碑建立、惜別の会と盛大に挙行出来ましたことを、心から御礼申し上げます。

同窓会活動は、青山同窓会のご支援を受けながら、総会、懇

閉課程式典を終えて

通信制幹事

岡田 忠雄 (通27回)

平成十七年十一月十二日、わが母校 新潟高校通信制は、閉課程記念式典を挙行いたしました。平成十六年春より、小林学校長、高島教頭先生、遠藤事務長他、通信制諸先生のご指導のもと、事前情報交換会から始まり、五回の準備委員会、四回の代表者会議、二回の実行委員会を経てこの日でした。午前十時から記念式典、記念講演(高橋榮治氏通信制八回卒業)と続き、十二時からは除幕式。その後会場を東映ホテルに移し惜別の会を催しました。また、各期代表が通信制での思い出話を披露し、当時は交通事情が悪く通学に半日以上かかった話や、四十三歳の高校生三年生、剣道での全国大会出場の話など、辛かったけど楽しかった当時の話に聞き入りました。丈夫斉唱、万歳三唱と続きあつという間に閉会となりました。更に、「ひとけたの会」では四十七名の参加で、山田源先生他諸先生を囲み更に盛り上がり上がったようですし、他の方々も二次会へと繰り出し通信制を、久々の再会を、名残惜しんでいたようです。



最後に青山同窓会が益々発展することを祈念いたします。

終えた。

2 第二部の懇親会は、坂井敬君（東京同期会幹事）の手慣れた司会により進行された。

最初に佐藤幸治君（関西青山同窓会長）が在校時代に英語の故志賀先生が西行の話をされたエピソードを語り、その原典の紹介があり、現在の我々はいわば大河の一滴が新潟高校という恵まれた三年間を経ていよいよ大海に出ようという段階にあると含蓄のある挨拶があった。

メルボルン在住の高見治君の乾杯が始まり、青木昌巳君のエレクトーン、小田嶋壽一君のクラリネットによるジャズ演奏、中島仁君指揮による応援歌大合唱の頃には会場が最高に盛り上がり、多感な時期を共有した同期全員が幸せを感じた楽しい宴となった。

時がたつのを忘れる談笑の輪は、尽きることなく続いたが、内海公子、中井ふさ子両君から二人の恩師への謝辞があり、川崎明君が小田嶋実行委員長、若槻晃一事務局長他大会幹事への感謝の閉会挨拶で幕を閉じた。

十三名参加の大会を行なった。優勝大野京一君。準優勝風間士郎、三位遠藤治一君であった。尚、本大会の賛助金のうち金一封を母校と同窓会に寄贈した。

「青山68会展」PARTIII」開催のお知らせ

今回で三回目を迎える68回の同期生とその家族による作品展を開催します。

（会場）

新潟県民会館

1F 展示コーナー

（日程）

平成十八年

九月二十一日（木）

二十四日（日）

（主な作品）

68回同期生並びに家族の

絵画・書道・写真・陶芸・

工芸・手芸・模型・など

の作品を展示

（幹事）

若松昌弘

O B 会 報 告

青山艇友会定時総会開催 三月十二日 新潟市にて

渡辺 研二（75回）

ボート部OB会・青山艇友会は定時総会を、平成十八年三月十二日（日）、新潟市内の四川飯店で開催いたしました。青山同窓会から長谷川会長、県ボート協会から原会長のご出席をいただき、高校からは吉原教頭先生および顧問の早川先生、大平先生にOBを加え総勢十七名で行った。

当日の声▽通信連絡会員約四百名。その5%のOBが練習水域に来て現役を叱咤激励・指導するだけでも現役は強くなるぞ！▽初めて出てきました▽会報を作っているOB組織はないようだ▽現役指導に、安全対策としてモーターボートはあるべきだと思ふ▽ボートの本を翻訳しています・・・等々

出席者十七名

（同窓会会長）長谷川義明（県

議案審議終了後別室にて懇親会を開催。先生からボート部員の現状や卒業生の進路等の話しや、参加者各自の報告を聞くにつけ昔話に花が咲き、大いに盛り上がりました。締めは恒例の「ますらお」で盛会裡にお開きとなりました。



議案審議は、平成十七年度事業報告・決算報告。平成十八年度事業案・予算案、母校への支援体制などです。支援策として特別会計を安全対策・競技艇修理等費用の一助になるように支出することの承認を得ました。

- ボート協会長原 正雄（教頭）
- 吉原 満（顧問） 早川 亨（顧問）
- 大平和之、（65） 佐藤勝弘
- （70） 三原邦夫、（75） 吉田芳郎
- （75） 渡辺研二、（76） 大井峰夫
- （76） 佐藤博世、（78） 水沼眞一、
- （78） 大橋潤一、（79） 増井隆夫、
- （80） 桜井 優、（80） 佐藤正昭、
- （89） 神林正浩

は安全対策に免許の要らないミニボート購入を検討し始めました（船の長さ3m未満かつ二馬力の船外機では条件付で小型船舶操縦士免許は不要）。モーターボートの性能制限はある程度我慢しても、水上練習を陸で見守るだけの状態より水上で監視もできる状況のほうがはるかに望ましいと思っております。

祈・青山ソフトテニスクラブ （部活OB・B）の伸展

小山 功（60回）

当クラブ（当時の青山庭球倶楽部）の創立は、大正十三年八月十七日で、初代会長は本田雄造氏（29回）と云われている。

以来会員相互の親睦を深め、心身の健全な発達を図り、ソフトテニス界の向上発展に寄与すると共に母校ソフトテニス部（当部）を援助し、強化育成に努めることを目的として円滑な運営を推進してきた。

「青山庭球倶楽部も時の情勢で、盛んになったり、沈滞したりしたが、今日まで脈々と続いてきている。今後もこの灯を消したくない」という二代目会長清水弥寿雄氏（33回）の決意は、歴代会員に引き継がれているが各位の理解と支援が不可欠であることを改めて強調したい。

▲平成十七年七月三十日、総会を開催し、決算・事業計画・予算を決議した。次いで懇親会を開催し、相互の信頼を深め、労い合いながらモラルの高揚を喚起した。▲当部部活の強化助成としては、合宿練習見舞金、ローラー購入費、ボール代等の当面の経費を補助した。日曜早朝練習後は顧問（コーチ）に協力し、当部強化練習の応援に当たった。

▲当クラブは市協会・県連に加盟し、選手権大会等に参加し、成績は優勝には今一步及ばないが、上位進出を果たしている。「案ずるより産むが易い」。

実績は、無駄にはならない。県・市としては平成二十一年ときめき国体開催に向けて選手強化対策を重点目標に、諸施策に取り組んでいるので、適宜企画により当若手会員の飛躍的チャンスだ。また若手に限らず、シニアにとつても、全日本選手権大会(四十五歳以上七十五歳以上まで五歳刻みの種別)が、当地で十月に開催されるので、熟年パワー發揮の好機だ。「いい年をしてまだやっているの?」は禁句。まさにソフトテニスには生涯スポーツ。脳力、筋力は鍛錬次第だ。(ソフトテニスは日本で生まれ育った伝統ある大衆スポーツで、発祥は明治十七年。テニスとは異なった独特の打球感が醍醐味だ。近年国際化が進み世界選手権大会も毎年開催されている。)▲当クラブ親睦大会は、県外の会員も進学先、就職先から古巣に帰って全会員共一堂に会してプレイするのを楽しみに開催されるが、会員の意向を集約して、年齢に応じ兼ねなく参加できるように各位の全面的協力が要だ。▲名簿の作成は個人情報保護に留意し、最小必要部数とし、適切な管理のもとで利用することになった。

平成十八年度 青山野球倶楽部総会 兼新入会員歓迎会

事務局 白井 行雄 (79回)

青山野球倶楽部は、本校創立二年後の明治二十七年に創部した野球部のOB会です。
三月二十三日(木) 十八時

三十分より、恒例の総会と新入会員歓迎会が、田中健一氏(105回)が専務をされています。新潟駅前前のクオリスビル五階「信濃川」で開催されました。参加者は、高校側から羽豆拓夫部長、倉繁正志監督、倉嶋和夫先生、皆川

後、平成十七年度の活動が報告されました。第三十八回青山野球倶楽部ゴルフコンペは渡辺国夫氏(72回)、第三十九回は神田三夫氏(60回)の優勝に終わりましたこと、八月十五日の第二十九



回青山葦原定期戦は降雨によるグラウンドコンディション不良のため中止となったが、ホンマ健康ランドで行なわれた懇親会では青山十六名、葦原十名の参加で、人数の上では青山の大勝利に終わったこと等でした。また、選手の練習試合等の移動を援助していましたが、これについて現役選手から感謝の手紙が披露されました。

三十回青山葦原定期戦を実施することとし、また数年振りに再開される新潟県高校OB野球大会(八月十二日〜十六日)の参加を決定しました。硬式ボールを握ってプレーのできるこの両大会に、多くの会員が出場しますようよろしくお願いしたいと思います。

新入会員歓迎会では、新会員全員が将来の抱負を述べてくれました。現役選手の後輩達を鍛えるため、新潟大学に入学しましたと、先輩達を泣かせるような言葉が会場を沸かせてくれました。先輩会員からは、新会員の卒業後の新たなスタートにエールが送られました。志望校合格がかなわず、再起を期す新会員には、「朝のこない夜はない、頑張つて」などと、温かい激励の言葉が掛けられました。母校野球部の甲子園出場を祈念し、新会員が新鮮に感じたという、ゆつたりとしたリズムの「ますらお」を歌い上げ、散会しました。

剣道部OB会の活動報告

青山剣友会事務局代表 町田一越 (95回)

平成十八年一月以降の活動をご報告致します。
1. 新年会(二月二日白山会館)

を開催しました。関崎会長(45回)をはじめとした新旧二十九名の会員が集い、いつもながら

ら和やかに新年をお祝いしました。一〇〇回以降の卒業生も十名出席するなど、若手会員からの積極的な参加があり、活気溢れる会となりました。冒頭、関崎会長の挨拶で平成十七年度の活動を振り返り、剣道部顧問・渡辺治夫先生(88回)の母校剣道部の近況報告で後輩の活躍に頼もしさと期待を感じました。恒例のアトラクションビンゴ大会では、多数の景品が用意され、参加者全員が「新年初当たり」となり、ひと言ずつ新年の抱負をスピーチしました。宗村信明氏(88回)の応援指導で母校発展の願いを込めた丈夫を合唱した後、村島副会長(52回)による万歳三唱で盛会のうちに終了しました。

2. 母校剣道部とOBの合同稽古会(毎月一回新潟高校剣道場)
一月二日、現役生・OBを始め一般の参加もあり、総勢五十名で新年稽古始めを実施しました。新春の寒さを吹き飛ばす気合いと熱気が道場に溢れ、充実した稽古が行われました。以降、二月十八日、三月十八日、四月十五日に、直近ではインターハイ予選を間近に控えた五月二十七日にOB十四名・現役二十五名の総勢三十九名で気合いの入った稽古会を実施しました。今後は六月十七日に実施。



七月二十二日(十五時〜十六時)、八月十二日(十時〜十一時)に予定しています。

3. 母校剣道部の近況 二月十一日に新潟市体育館で行われた「第三十四回建国記念剣道大会」で、男子団体戦で三位に入賞しました。準決勝(四回戦)で優勝候補のライバル・新潟明訓高校に惜敗しましたが、強豪校に競り勝つての四強入りで自信を付けた様子でした。四月には新入部員十二名(男子八名・女子四名)が加わり、総員二十五名が毎日熱心に稽古に励んでいます。

4. 総会の予定 来る八月十二日(土)十七時よりイタリア軒で恒例の青山剣友会総会を計画しております。

新中排球部を立ちあげた頃

新潟中学校排球部OB 石本 林三 (55回)

昭和二十二年八月十五日、戦争は終わった。在校生は勤労動員から解放され、学校は九月に授業を再開した。

始まつては見たものの学校全体に覇気がない。そうこうしてあるうちにGHQから「学校で武道を一切禁止する」という指令が出てしまった。剣道・柔道ができなくなりました。で、何かをやつて放課後を通して、何とか三々五々集まつてきた。その面々は剣道部が多かった。新潟県には戦前男子が排球をやる学校がなかったようだし、ともすれば女学校とも交流ができるかも知れない。という動機不純な要素もあったと思う。「排球をやろう」ということになった。

メンバーは十一名。集まつては見たもの、どうして好いか分からない。指導者が身近にいないものかと探していたら、望月彰先輩が時折学校に見えておられた。望月先輩(のちに先生)は優れた技量の持ち主で、徹底的に基礎を教えてくださいました。昭和二十一年になると部員も多くなり、組織的な練習の必

と実行することとし、マネージャーの小生に折衝役が回ってきた。小生としては新潟高女の門をくぐるなど思いも寄らなかつたが、とにかく交渉してみると、あっさりといいわよ。いつでもいらつしやい」という返事が上杉主将から返つてきた。「男女七歳にして・・・」という道徳律で育つた年代である。晴天の霹靂と交渉に当たった本人が驚いてしまった。とにかく学校へとつて返して部員に報告。一同、言い出しておきながら事の成り行きに啞然としてしまった。

いざ手合わせをしてみると、てんで問題にならない。赤子の手をひねるように撃破され、茫然自失言葉もなく、すごすごと学校へ引き上げてきた。このことをどこで聞きつけたのか、早速顧問の藤田先生に私が呼びつけられ、散々油を絞られてしまったが、先生の「きつく叱りおく」という温情によってこの珍事は収まった。

また、早稲田大チームの一員として渡米し、六人制バレーボールを日本に持ち帰り、昭和三十年、アジア大会(東京)の日本代表選手となった遠藤整治(58回)を生み出している。隔世の感がある。

折しも今年には新潟県ラグビーフットボール協会の設立六十周年で、来年は新潟高校ラグビー部の創部六十周年と、加藤先輩のラグビーとのかわりと軌を一にするように節目の年を迎えます。これを期に先輩方のご苦勞を想い、素晴らしい歴史にかかわれたことに感謝し、今後の新潟高校ラグビー部ならびに青山ラグビー部の益々の発展を祈念してOB会報告とさせていただきます。

新潟高校ラグビー部OB会報告

青山ラグビー部 小見 毅 (92回)

先日、我らが新潟高校ラグビー部OB会・青山ラグビー部(以下、青山ラグビー部)の歴史において、非常に喜ばしい出来事がありました。去る平成十八年四月二十九日付で発表された春の叙勲の受章者に、青山ラグビー部の大先輩である加藤吉策先輩(56回)が選ばれ、旭日双光章を受章されたとの発

表がなされたのです。青山ラグビー部のみならず、新潟県のラグビー界においても非常に喜ばしい快挙といえるのではないのでしょうか。本当におめでとうございます。

加藤先輩におかれましては、新潟県のラグビーの黎明期から選手ならびに協会の役員として活躍をされ、新潟県のラグビー界の発展に多大なるご尽力をなされてこられました。そもそも新潟高校ラグビー部の歴史は、加藤先輩をはじめとするメンバーの皆様が旧制新潟中学校にラグビー部を創設されたことから始まつております。そこから現在に至るまで脈々とその心意気が受け継がれ、他校がうらやむ新潟高校ラグビー部の伝統の力となつております。毎年少数精鋭で身体は大きくないものの頭を使ったままとまりのあるランニングラグビーは、他校が範とするラグビーらしいラグビーであると思つています。

低鉄棒の話

中川 弘 (58回)

今ではどんな小さな田舎の小学校の校庭にも低鉄棒があるが、之が日本に出来たのは昭和八年に38回卒近藤圓氏がかかわつたことは、知られていない。

近藤氏は昭和八年に日体大を卒業して文部省体育研究所に入り大谷武一教授の下で研究生として、同僚には昭和七年日本が初めて参加したロスアンゼルスオリンピックの選手の武田義孝氏がいた。ドイツから届いた本を見ていたら、胸の高さの鉄棒で練習している写真が出てきた。日本はその頃は鉄棒は高いものばかりだった。これをひとつ研究してみようということになり、早速とりつけてみた。こういう低いものは物の役には立たないだろうと思ひながら、始めたが案に相違して実に様々の種

目が出来るのである。然も施設経費は安く上がり、補助はやり易く怪我はほとんどないという利点も多く、是非これをひろめようということにして、研究していった。名前も当初「低式鉄棒」と呼んでいたが、これから全国に広めるとなると低式は式の字が一つ多い。いつそのこと「低鉄棒」と命名しようという大谷教授の一言でそう決まった。長振、短振という名前も私共が付けた。低鉄棒の実験校として、東京新宿の大久保小学校に十欄ほどつけ指導してみた。山本先生という熱心な協力者がおられ、やってみたら、なんと半年もしないうちに男女児共に大半の子供らが蹴上がりをするようになり物すごい成果をあげることが出来た。そこで体

育研究所で出していた「体育研究」という雑誌に発表し、毎号技術の紹介をした。全国の体操の好きな教師が押しかけてきて研究していった。そして燎原の火の如くという言葉そのままにたちまち全国の小学校に広まっていったのであったと、近藤氏は語る。新潟には、その頃34回堀保利氏34回樋口政忠氏が、之を新潟にもち帰り新潟にひろめたのである。低鉄棒の普及が日本の体操界のめざましい発展に寄与したのは実績の通りである。近藤氏は今でも元気で、青山体友会には出席してこれら私共の先輩が低鉄棒をつくり、テレビや映画で昭和八年以前の画面に低鉄棒があるのは嘘ということになる。

第21回「青山OBゴルフ大会」

優勝報告

田中 宣男 (68回)

四月二十三日紫雲ゴルフ倶楽部に於いて第二十一回「青山OBゴルフ大会」が華々しく行われ、68回生が個人、団体とも優勝を飾り完全優勝いたしました。参加メンバーは、加藤健一、鈴木 洋、飯利武志、田中宣男の四名でした。数年前にも

個人、団体優勝を致しておりますので今回で二度目の完全優勝です。この会は大正生まれの先輩から二十代の後輩まで年齢も幅広く、場所を変えての夜の表彰式兼懇親会は和気藹々の雰囲気で大変に楽しい会です。上村青山ゴルフ会長や長谷川青



山同窓会長と一緒に膝を交えて酒を酌み交わし、先輩、後輩の垣根を越えての会話は七月の同窓会総会とは一味違って親密さが増し話が弾みます。未だ参加されていない皆様方、是非ともご参加のほどを・・・ところで我々68回生の仲間は、年に二度、春は高崎、秋は新潟と会場を変えて二十余年にわたり「青山68ゴルフ大会」を行っております。今秋の大会で四十二回を迎えます。

この会が継続したお陰で、東京〜新潟の同期の仲間のコミュニケーションが密に図られて距離を越えた強い結びつき出来る多彩な活動を行っております。例えば新潟では、池主憲夫塾頭指導で絵画の会「68画塾」や岡庭治行校長指導の「68料理教室」(同期の仲間が交代で料理講師)、真野義昭江戸千家師

範指導の「68茶会」、関根紀一郎シングル指導の「68ゴルフ教室」等です。これらの会のユニークなのは指導が全て同期の仲間ということ。外来講師はお願ひしておりません。また、今秋で第三回を迎える「青山68作品展」を紹介いたします。68回生の絵画、写真、陶芸、書、俳句や模型など何でも有りの作品展です。毎年、長谷川会長からも賛助出品を頂いております。今年は九月二十一日〜二十四日まで県民会館ギャラリーで開催予定ですのでお誘い併せのうえご来場のほどお願い申し上げます。これらの内容はインターネットで「青山68会」と検索していただくとホームページでご覧いただけますので、一度アクセスしてみてください。

ゴルフ大会優勝の報告のついでに紙上をお借りして、68回生の活動の一端を報告させていただきます。

大学入試結果

今春、全日制課程四百名の生徒が無事卒業していききました。卒業式当日は天気にも恵まれ、長谷川会長の前で応援団長枝村峻佑君が元気良く宣誓し、卒業生が全員入会しました。



以上三点が本校の入試結果の特徴と言えます。

①については、昨年度に続き、学年団が一致して進学指導に当たり、生徒がこれに対ししっかりと学習して受験した結果と想われます。進学率は昨年度よりさらに2.5ポイントアップして75.8%となりました。二〇〇〇年の進学率52.6%からみると隔世の感があります。

②については、文系は進学率も上がりましたが、内容的にも難関大学法学部合格者が増加しました。北海道大学一名、東北大学一名、一橋大学二名、京都大学一名と善戦したと言えます。

理系は昨年度とほぼ同じ進学率でしたが、医学部医学科で少し進学率が下がりました。

③については、進学率の向上にともなって減少した結果、浪人生が九十五人となり、二〇〇〇年の百九十八人からみると半減したことがわかります。全国的にも現役合格志向が強くなっていますが、本校も年々強まっているといえます。

青山ゴルフ会幹事より

次回会の会のお知らせ

とき 9月24日(日)

ところ 阿賀高原ゴルフクラブ

- ①合格率、進学率がさらに上昇
- ②文系が健闘した
- ③浪人生数が百人を割る

〈その他〉

北海道大学・東北大学の合格者が三十九名と大幅に増加しました。文系九名に対し、理系が三十名と理系の合格者増が目を引きます。ある意味で、この両大学が本校の受験する標準大学になったといえます。

私立大学は来年度入試から全入時代に突入すると予想されていますが、今年度からすでに広き門となり、早慶上智大学を除く私立大学の合格率並びに合格者数がアップしました。

女子の進学率が 81.4% と初めて 80% の大台を越えました。

最後に、今年度の入試結果をもとに学年団と連携しつつ、生徒共々気持ちを引き締めて進路指導にあたっていききたいと思っています。

職員の異動 (平成十八年四月)

退職 転出 (転出先)

全日制

教頭 吉原 満 新井 教頭
教諭 堀 昌明 長岡 教頭

浅野 顕子 三条 教頭

山内 雅人 新津

小杉 仁 新潟潟陽

主な大学合格者数 (現役合格者延べ数)

主な国立大学合格者数				主な私立大学合格者数			
大学名	2004	2005	2006	大学名	2004	2005	2006
北海道大学	9	10	15	早稲田大学	22	34	41
旭川医科大	0	1	1	慶応大学	10	18	18
東北大学	16	19	24	中央大学	33	22	36
秋田大学	4	3	4	明治大学	20	23	35
山形大学	2	2	3	立教大学	11	7	20
筑波大学	7	9	13	法政大学	12	22	21
埼玉大学	3	3	4	日本大学	12	9	6
千葉大学	5	13	13	上智大学	2	5	5
東京大学	3	7	9	青山学院大	10	11	9
東京外語大	3	1	3	学習院大学	1	7	7
東京学芸大	8	4	9	北里大学	4	5	6
東京工業大	1	5	2	国学院大学	4	5	4
東京農工大	2	1	1	I C U	1	3	2
お茶女子大	1	4	6	駒沢大	3	4	9
電気通信大	0	3		自治医科大	1	0	1
一橋大学	1	3	3	成蹊大学	2	6	4
横浜国立大	2	10	8	成城大学	2	4	3
新潟大学	85	81	73	専修大学	6	6	9
長岡技科大	1	1	0	津田塾大学	3	7	11
富山大学	2	0	1	東京農業大	4	3	5
金沢大学	2	3	7	東京理科大	18	43	21
信州大学	2	1	2	東京薬科大	3	4	3
静岡大学	2	1	1	東京女子大	5	6	6
名古屋大学	2	1	1	東邦大学	8		3
京都大学	2	2	5	日本女子大	10	5	4
大阪大学		1	2	明治学院大	4	6	6
神戸大学	0	2	1	神奈川大学	5	4	6
九州大学	0	1	1	東海大学	2	2	5
首都大東京	6	9	3	文教大学	5	6	7
横浜市立大	1	2	1	新潟薬科大	2	7	17
その他	10	10	17	同志社大学	3	2	6
合格者総合計	182	213	233	立命館大学	8	18	12
合格率	41	44	49	その他	54	71	89
				合格者総合計	293	379	444

常勤講師 皆川 敬志

木伏 智久 三重県日生学園第二高校

目黒 乃章

通信制

教頭 高島 徹 長岡農業

教諭 長谷川富美子

教諭 松本 滋 新発田商業

常勤講師 打越 彰子 新潟

非常勤講師 伊勢亀恵真 新潟

飯塚 清 新潟南

佐藤 綱雄 見附

小栗 武 新潟北

小原沢公啓 五泉

遠藤 浩行 三条東

小黒 圭介 三条東

小黒 武 三条東

飯塚 清 新潟南

伊勢亀恵真 新潟

松月 裕子 長岡明德

打越 彰子 新潟

非常勤講師 新発田商業

常勤講師 打越 彰子 新潟

非常勤講師 打越 彰子 新潟

非常勤講師 打越 彰子 新潟

非常勤講師 伊藤 敏

木村 澄枝

片桐 靖孝

NHK 学園 非常勤講師

千代澤ヒサ

浅沼 恵美

本間 桂子 新潟

新発田商業 非常勤講師

非常勤講師 打越 彰子 新潟

非常勤講師 打越 彰子 新潟

非常勤講師 打越 彰子 新潟

非常勤講師 打越 彰子 新潟

事務 半藤 良子

事務 新潟 養護助教諭

転入 (前所属)

全日制

教頭 小林 勝也

教諭 岡田 淳 国際情報

教諭 和田 紀明 両津

常勤 (3ヶ月) 高橋 陽介 新採用

半藤 良子

非常勤講師 本校 (通) 非常勤



平成 18 年度新潟高等学校部活動県総体成績一覧表

1 陸上競技	男子 100m 5位 山田 智治 (北信越大会出場)	男子個人組手 3位 木原拓也 (北信越大会出場)
	男子 100m 8位 小林 成治	学校対抗 男子団体総合 3位
	男子 200m 4位 山田 智治 (北信越大会出場)	女子団体組手 1回戦敗退
	男子棒高跳 1位 高橋 理寛 (北信越大会出場)	女子団体形 2回戦敗退
	男子走幅跳 6位 内山 史彦 (北信越大会出場)	女子個人形 5位 加藤みずき
	男子 4×100mR 4位 小林 成治・内藤 智大 内山 史彦・山田 智治 (北信越大会出場)	8 ボート 女子シングルスカル 3位 多田 幸子 男子シングルスカル 4位 清野 賢一郎 男子ダブルスカル 5位 江口 健一・近 英佑
	女子 100m 5位 平澤 薫 (北信越大会出場)	9 柔道 男子団体予選リーグ 2位 (予選敗退)
	女子 200m 6位 平澤 薫 (北信越大会出場)	10 剣道 男子団体予選リーグ 2位 (予選敗退)
	女子 100mH 4位 堀 綾子 (北信越大会出場)	女子団体予選リーグ 2位 (予選敗退)
	女子 400mH 2位 堀 綾子 (北信越大会出場)	11 サッカー 2回戦敗退
	女子 4×100mR 3位 田村 希・平澤 薫 堀 綾子・小林 理紗 (北信越大会出場)	12 ラグビー 1回戦敗退
	男子総合 6位 女子総合 8位	13 男子バレーボール 2回戦敗退
2 男子バスケットボール	第2位 (北信越大会出場)	14 女子バレーボール 1回戦敗退
	熊倉 祐人・藤田 裕・押見 幸一・ 牛木 和彦・石川 達也・小林 竜也・ 小黒孝太朗・坂井 章也・須田 元太・ 橋本 琢人・船登 智将・佐久間大地・ 田井 啓悟・千葉 友貴・井部 幹太	15 フェンシング 女子個人戦フルーレ 1位 遠藤 理紗 (全国大会・北信越大会出場)
3 女子バスケットボール	2回戦敗退	2位 山崎 唯 (全国大会・北信越大会出場)
4 弓道	男子団体 第2位 田島文彦・上松 信・荒井真郷・ 松島浩二・田村陽平・江尻有輝・ 青海将弘 (北信越大会出場)	女子個人戦エペ 1位 遠藤 理紗 (全国大会・北信越大会出場)
	男子個人 ベスト16 上松信	16 卓球 男子団体戦 3回戦敗退 (ベスト8)
	男子個人 ベスト16 江尻有輝	男子ダブルス 5位 五十嵐・坪川 組 (北信越大会出場)
	女子団体 予選敗退	男子ダブルス 4回戦敗退 斉藤・前野 組
5 女子テニス	団体 第3位 藤川 愛里・春名 美紀・星野 絢子 佐久間彩花・藤間 なつみ	17 バドミントン 男子団体 3回戦敗退 女子団体 2回戦敗退
6 男子テニス	団体 2回戦敗退	18 ソフトテニス 男子団体 2回戦敗退 男子個人 4回戦敗退 高橋・服部組、野田・坂井組 女子団体 2回戦敗退
7 空手道	男子団体組手 3位 小野塚直樹・岡本侑・中山雄人・ 川上翔太・林健太郎・木原拓哉・ 増井裕太	19 山岳 優秀校 (北信越大会出場) 内藤 貴浩・鈴木 遼・石井 太一・ 小松原悠司
	男子団体形 5位	20 水泳 6月23日~6月25日 開催予定
		21 野球 春季地区大会 1回戦敗退 夏季選手権大会 7月14日より



後 輩 諸 君 の 活 躍

バスケット部準決勝



いざ決戦

準決勝 3 点差で長岡を下して

女子テニス部



表彰式にて

3 位決定戦：春名・藤間組

弓 道 部



表彰式後の笑顔

北信越での勇姿

事務局より

青山同窓会費納入についてのお願い

会費を納入していただきますと、「青山同窓会報」を毎号お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなつてしまいます。是非、お忘れなくお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

年会費 一口 一,000円

できるだけ二口以上でお願いいたします。

振込先：郵便振替口座

全日制 00650-7-4455

青山同窓会

通信制 00530-1-74207

青山通教部会

同期会を開催される期の幹事の方へお願い

同期会の開催に合わせて、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の期日を連絡頂ければ、事務局で、同窓会報・会費納入のお願い・振込用紙としてA4サイズが入る角2の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしくお願いたします。

会報へ寄稿される方へ、原稿字数のお願い

原稿の字数は八〇〇字から一〇〇〇字の間で書いて下さるようお願いいたします。一〇〇〇字以上ですと紙面の関係で載せられなくなりますのでよろしくお願いたします。

平成17年度 青山同窓会会費納入者追加分

(10月1日より3月末まで納入のもの)

38回S6年 澤野十蔵男 竹石三八男 40回S8年 阿部富衛 41回S9年 五十嵐富郎 43回S11年 森田五郎 44回S12年 池田元之助 北沢健裕一 坂井織登美夫 星野圭 45回S13年 治雅樹 48回S16年 飯田大透 吉澤宏英 49回S17年 稲井武男 井上正一 木村竜一 50回S18年 伊藤行一 佐藤剛一 山田璋一 渡辺進 51回S19年 厚地武夫 大丸映弘三 52回S20年 金居直男 北村三保也 坂井本山義二 村橋本山義二 53回S20年 阿部靖朗

小野幸雄 長場鉄雅 福島英一 藤田英典 夫 54回S21年 本田茂 55回S22年 阿中威吾 柳山昌磨 56回S23年 貝沼知男 高見久義 中島照三 58回S25年 長浜利夫 59回S26年 伊佐修男 江口昌夫 小栗泉英貞 小松原金 田辺治健 岡田和雄 60回S27年 小川秋実 小河田鐵雄 小林林一 小清水橋一 高富山崎和良 61回S28年 大谷英寛 大木村賀通 丸山

谷田部信 62回S29年 木村望 小池健治 新保博 杉内愛 鈴木勉 63回S30年 市川瑞夫 谷藤博之 佐藤博之 白井倉恒 白井木村輝 中村田美昭 横野啓利 青安藤慶次 池近浦恭一 田辺元彦 西野貢司 早川周作 吉田祐 65回S32年 池田昌彦 白川欣一 波多野庄英 水野左敏 山本井和士 吉田治積 吉田穂積 66回S33年 菊池重治 山池口信 67回S34年 石井幹男 一箭茂

小野川勝 北川村晴 北児島山直 杉高橋直 高玉木直 西山田尚 68回S35年 磯辺光 岡村健孝 加藤本原伸 塚藤原伸 松渡边泰彦 69回S36年 青木利夫 海城英弘 居高橋義清 高玉浜勝茂 長野平樹 70回S37年 井谷口礼 江口光 笠原藤邦 加松松 71回S38年 石橋達 伊藤清 今熊倉林 熊中野沢 72回S39年 阿吉部篤 渡辺玄 渡辺毅 73回S40年 阿部桂 小山林昭 小熊節 樋熊節 74回S41年

権平弘 鈴木橋秀 高屋彰 土屋藤哲 伊大越公 斉野み 佐野都康 百吉川惠 76回S43年 尾加澤明 斎藤代雅 田代北悦 長岡中谷 田長崎克 藤 78回S45年 岩瀬耕 太田祐 久世川隆 笹川孝 長谷川ま 広福原由 松田紀夫 79回S46年 赤野正明 枝並和男 江花和郎 瀬宮戸聡 野龍美 80回S47年 伊藤明 植木邦彦 神原のぞ 菊池明恒 田卷克尚 西山克夫 81回S48年 遠藤藤 斎坂井石 坂竹剛 林島

宮澤政裕 渡辺S49年 石崎昂一 日下部朋子 本間黒茂樹 83回S50年 相田八郎 牛木宏時 鈴木山佳 高丸田拓 中丸尾山弘 横山修 吉澤篤 84回S51年 小黒志津 小井和幸 小吉井修 85回S52年 笠原徹 86回S53年 高橋俊吾 八巻修一 87回S54年 荒川一成 田中隆則 宮田佳則 88回S55年 小池真久 小林久哉 89回S56年 川嶋薫 渡邊克彦 91回S58年 大津俊哉 97回H1年 北西奈穂子 100回H4年 加藤貴史 坂井英美 森岡聡 101回H5年 小林史佳 渡辺真光